

大腸癌化学療法スケジュール表

健和会大手町病院外科

No.2

XELIRI + アバスチン BV 療法

薬剤	月/日									
	コース		コース		コース		コース		コース	
	/		/		/		/		/	
	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来	□入院 □外来
ゼローダ 内服	○	→	○	→	○	→	○	→	○	→
① 前投薬	○		○		○		○		○	
② アバスチン	○		○		○		○		○	
③ イリノテカン	○		○		○		○		○	
④ 生食	○		○		○		○		○	

◎ **Capecitabine ゼローダ**

単独療法の適応: ①切除不能または再発乳がん ②結腸癌における術後補助下額療法

主な副作用: **手足症候群 (HFS: Hand-foot syndrome)**

※ 好発部位は、手、足、爪の四肢末端部。

※ HFS Grade判定基準

Grade	臨床症状	ゼローダ投与継続or休薬の判断
1	しびれ 皮膚知覚過敏 ヒリヒリ・チクチク感 無痛性腫脹 無痛性紅斑	継続
2	腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑	休薬 (休薬前の用量で再開)
3	湿性落屑 潰瘍 水疱 強い痛み	休薬 (1段階減量して再開)

※休薬期間はGrade1に軽快するまで

※ HFS予防対策

ゼローダ投与開始と同時に

・ビタミンB6(60mg/日)を連日投与(ゼローダ休薬中も継続)

リン酸ピリドキサル(ピリドキサル、ピロミジン、リン酸ピリドキサル錠など)

・保湿クリームをこまめに塗る(1日5回以上)

◎ **Bevacizumab アバスチン**

※ 血管内VEGFを阻害することで、腫瘍組織での血管新生を抑制し、抗腫瘍効果を発揮する分子標的治療薬

※ 可能性のある特徴的な副作用

■消化管穿孔 ■創傷治癒遅延 ■出血(腫瘍性出血、鼻出血、歯肉出血、腔出血など)

■血栓塞栓症 ■高血圧 ■可逆性後白質脳症症候群(痙攣発作、頭痛、視覚障害など)

◎ **CPT-11副作用対策 (早期・遅発性下痢)**

①マグミット(330)6錠 3×

②ウルソ 300mg 3×

③ノバミン(5mg) 3錠 3×

④重曹(炭酸水素ナトリウム) 1.8g 3× 食間

⑤カイトリル(2mg)1錠 1×朝

※アルカリイオン水(ボルビックスなど)を1日1,000ml飲用

4日間服用

抗がん剤治療を受けられる方へ
 <化学療法治療計画書および同意書>

様

健和会大手町病院外科・消化器科

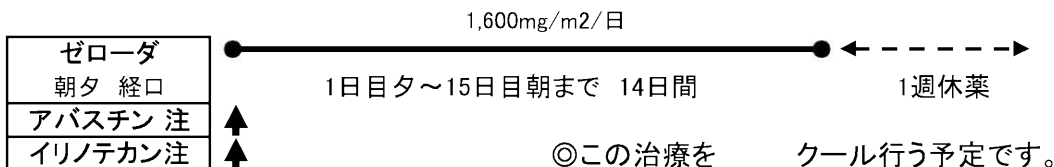
大腸癌の治療に対して貴方の受けられる治療は、
XELIRI + アバスチン 療法 です

◎抗がん剤注射の前に吐き気を押さえる点滴をします
 アロキシ(制吐剤) + デキサート(ステロイド) 30分点滴

◎この治療に使われる抗がん剤

①ゼローダ (カペシタビン)	内服	XELIRI
②イリノテカン (CPT-11)	点滴	
③アバスチン (ペバシズマブ)	点滴	分子標的抗癌剤

◎抗がん剤投与スケジュール(1クール)



◎主な副作用

- ◆骨髄抑制(白血球減少、好中球減少)
- ◆悪心・嘔吐
- ◆食欲不振
- ◆脱毛

#ゼローダ

- 手足症候群
好発部位は、手、足、爪の四肢末端部。
軽度のものでは、紅斑、色素沈着に終わります。
高度のものは、疼痛を伴って発赤・腫脹し、水疱、びらんを形成します。

(予防対策)

- ・ビタミンB6を連日内服(ゼローダ休薬中も継続)
- ・保湿クリームをこまめに塗る(1日5回以上)

#アバスチン

- 消化管穿孔 ■創傷治癒遅延
- 出血(腫瘍性出血、鼻出血、歯肉出血、腔出血など)
- 血栓塞栓症 ■高血圧
- 可逆性後白質脳症症候群 (痙攣発作、頭痛、視覚障害など)

#イリノテカン

- 下痢症状

※副作用症状が軽度の場合は、十分な注意の上治療を継続いたします。
 ※副作用が強く急激な変化を認めた場合は、中止もしくは延期いたします。

説明日 年 月 日

説明医師 _____ 担当看護師 _____

この抗がん剤治療に関して、必要性、スケジュール内容、副作用を十分理解の上、治療を受けることに同意いたします。

同意日 年 月 日 患者様氏名 _____